

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 23 年 6 月 16 日 (2011.6.16)

【公開番号】特開 2009-89207 (P2009-89207A)  
 【公開日】平成 21 年 4 月 23 日 (2009.4.23)  
 【年通号数】公開・登録公報 2009-016  
 【出願番号】特願 2007-258342 (P2007-258342)  
 【国際特許分類】

H 0 4 W 76/02 (2009.01)

H 0 4 B 1/707 (2011.01)

【F I】

H 0 4 B 7/26 1 0 9 N

H 0 4 J 13/00 D

【手続補正書】  
 【提出日】平成 23 年 4 月 22 日 (2011.4.22)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

複数の第 1 無線通信装置が所定割りリソース情報に基づく共通チャネルを通して第 2 無線通信装置へデータ送信を行うシステムの共通チャネルリソース割当方法であって、

前記第 2 無線通信装置は、前記複数の第 1 無線通信装置の少なくとも 1 つへ個別に送信される個別割りリソース情報を含む少なくとも 1 つの割りリソース情報を送信することができ、

前記第 1 無線通信装置は、前記個別割りリソース情報を受信しなかったとき、前記第 2 無線通信装置に対してプリアンブルを再送する、ことを特徴とする共通チャネルリソース割当方法。

【請求項 2】

前記少なくとも 1 つの割りリソース情報は、前記複数の第 1 無線通信装置へ送信される共通割りリソース情報を含み、前記第 2 無線通信装置は前記複数の第 1 無線通信装置の少なくとも 1 つへ前記共通割りリソース情報の使用を指示することを特徴とする請求項 1 に記載の共通チャネルリソース割当方法。

【請求項 3】

前記第 2 無線通信装置は前記個別割りリソース情報を 1 つの第 1 無線通信装置へ送信し、当該第 1 無線通信装置からのデータを完全受信できなかったならば、別の個別割りリソース情報を当該第 1 無線通信装置へ送信することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の共通チャネルリソース割当方法。

【請求項 4】

前記第 2 無線通信装置は、所定時間内で 2 以上の第 1 無線通信装置から同一の所定割りリソースでのデータ送信要求があると、前記 2 以上の第 1 無線通信装置のうち少なくとも 1 つの第 1 無線通信装置に対して前記個別割りリソース情報を送信することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の共通チャネルリソース割当方法。

【請求項 5】

前記個別割りリソース情報の受信待ち状態の第 1 無線通信装置は、所定時間内に前記個別割りリソース情報を受信しなかったとき、前記第 2 無線通信装置に対してプリアンブル

を再送し、当該プリアンプルに対する応答通知の受信待ち状態となることを特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の共通チャネルリソース割当方法。

【請求項 6】

前記第 2 無線通信装置に対してプリアンプルを送信した第 1 無線通信装置は、所定時間内に当該プリアンプルに対する応答通知を受信しなかったとき、前記第 2 無線通信装置に対してプリアンプルを再送し、当該プリアンプルに対する応答通知の受信待ち状態となることを特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の共通チャネルリソース割当方法。

【請求項 7】

前記第 2 無線通信装置に対してプリアンプルを送信した第 1 無線通信装置は、所定時間内に当該プリアンプルに対する応答通知 A C Kを受信したとき、前記所定割りリソース情報を使用して前記データ送信を行うことを特徴とする請求項 5 または 6 に記載の共通チャネルリソース割当方法。

【請求項 8】

複数の無線通信装置が所定割りリソース情報に基づく共通チャネルを通してデータ送信を行うシステムにおける共通チャネルリソース割当装置であって、

前記複数の無線通信装置からのプリアンプルから無線通信装置を識別する識別手段と、

前記複数の無線通信装置の少なくとも 1 つへ個別に送信される個別割りリソース情報を含む少なくとも 1 つの割りリソース情報を送信し、前記複数の無線通信装置の各々が前記所定割りリソース情報および前記少なくとも 1 つの割りリソース情報のなかの 1 つの割りリソース情報を使用して前記データ送信を行うように前記共通チャネルのリソースを割り当て、前記個別割りリソース情報を受信しなかった移動局が再送したプリアンプルを受信する制御手段と、

を有することを特徴とする共通チャネルリソース割当装置。

【請求項 9】

前記少なくとも 1 つの割りリソース情報は、前記複数の無線通信装置へ送信される共通割りリソース情報を含み、前記制御手段は前記複数の無線通信装置の少なくとも 1 つへ前記共通割りリソース情報の使用を指示することを特徴とする請求項 8 に記載の共通チャネルリソース割当装置。

【請求項 10】

前記個別割りリソース情報を 1 つの無線通信装置へ送信し、当該無線通信装置からのデータを完全受信できなかったならば、別の個別割りリソース情報を当該無線通信装置へ送信することを特徴とする請求項 8 または 9 に記載の共通チャネルリソース割当装置。

【請求項 11】

所定時間内で 2 以上の無線通信装置から同一のプリアンプルを受信すると、前記 2 以上の無線通信装置のうち少なくとも 1 つの無線通信装置に対して前記個別割りリソース情報を送信することを特徴とする請求項 8 または 9 に記載の共通チャネルリソース割当装置。

【請求項 12】

複数の移動局から所定割りリソース情報に基づく共通チャネルを通してデータを受信する基地局であって、

前記複数の移動局から受信するプリアンプルからそれぞれの移動局を識別する識別手段と、

前記複数の移動局の少なくとも 1 つへ個別に送信される個別割りリソース情報を含む少なくとも 1 つの割りリソース情報を送信し、前記複数の移動局の各々が前記所定割りリソース情報および前記少なくとも 1 つの割りリソース情報のなかの 1 つの割りリソース情報を使用して前記データ送信を行うように前記共通チャネルのリソースを割り当て、前記個別割りリソース情報を受信しなかった移動局が再送したプリアンプルを受信する制御手段と、

を有することを特徴とする基地局。

【請求項 13】

前記少なくとも 1 つの割りリソース情報は、前記複数の移動局へ送信される共通割り

ソース情報を含み、前記制御手段は前記複数の移動局の少なくとも1つへ前記共通割り当てソース情報の使用を指示することを特徴とする請求項12に記載の基地局。

【請求項14】

前記個別割り当てソース情報を1つの移動局へ送信し、当該移動局からのデータを完全受信できなかったならば、別の個別割り当てソース情報を当該移動局へ送信することを特徴とする請求項12または13に記載の基地局。

【請求項15】

所定時間内で2以上の移動局から同一のプリアンブルを受信すると、前記2以上の移動局のうち少なくとも1つの移動局に対して前記個別割り当てソース情報を送信することを特徴とする請求項12または13に記載の基地局。

【請求項16】

所定割り当てソース情報に基づく共通チャネルを通して基地局へデータを送信する移動局であって、

前記基地局から個別割り当てソース情報を含む少なくとも1つの割り当てソース情報を受信する割り当てソース情報処理手段と、

送信すべきデータが発生すると前記基地局へ当該移動局のプリアンブルを送信し、当該プリアンブルに対する応答通知により前記個別割り当てソース情報を受信しなかったとき、前記基地局に対してプリアンブルを再送する制御手段と、

を有することを特徴とする移動局。

【請求項17】

前記少なくとも1つの割り当てソース情報は他の移動局も受信する共通割り当てソース情報を含み、前記送信データ制御手段は前記基地局から指示に従って前記共通割り当てソース情報を使用することを特徴とする請求項16に記載の移動局。

【請求項18】

前記基地局が当該移動局からのデータを完全受信できなかったならば、前記割り当てソース情報処理手段は前記基地局から別の個別割り当てソース情報を受信することを特徴とする請求項16または17に記載の移動局。

【請求項19】

前記個別割り当てソース情報の受信待ち状態で所定時間内に前記個別割り当てソース情報を受信しなかったとき、前記送信データ制御手段は前記基地局に対してプリアンブルを再送し、当該プリアンブルに対する応答通知の受信待ち状態となることを特徴とする請求項16～18のいずれか1項に記載の移動局。

【請求項20】

プリアンブルを送信して所定時間内に当該プリアンブルに対する応答通知を受信しなかったとき、前記送信データ制御手段は前記基地局に対してプリアンブルを再送し、当該プリアンブルに対する応答通知の受信待ち状態となることを特徴とする請求項16～18のいずれか1項に記載の移動局。

【請求項21】

プリアンブルを送信して所定時間内に当該プリアンブルに対する応答通知ACKを受信したとき、前記送信データ制御手段は前記所定割り当てソース情報を使用して前記データ送信を行うことを特徴とする請求項19または20に記載の移動局。

【請求項22】

複数の移動局から基地局へ所定割り当てソース情報に基づく共通チャネルを通してデータを送信する移動通信システムにおいて、

前記基地局は、前記複数の移動局から受信するプリアンブルからそれぞれの移動局を識別する識別手段と、前記複数の移動局の少なくとも1つへ個別に送信される個別割り当てソース情報を含む少なくとも1つの割り当てソース情報を送信し、前記複数の移動局の各々が前記所定割り当てソース情報および前記少なくとも1つの割り当てソース情報のなかの1つの割り当てソース情報を使用して前記データ送信を行うように前記共通チャネルのリソースを割り当て、前記個別割り当てソース情報を受信しなかった移動局が再送したプリアンブルを

受信する基地局制御手段と、を有し、

前記移動局は、前記基地局から個別割りリソース情報を含む少なくとも1つの割りリソース情報を受信する割りリソース情報処理手段と、送信すべきデータが発生すると前記基地局へ当該移動局のプリアンブルを送信し、当該プリアンブルに対する応答通知により前記個別割りリソース情報を受信しなかったとき、前記基地局に対してプリアンブルを再送する移動局制御手段と、を有する

ことを特徴とする移動通信システム。

【請求項23】

複数の移動局から所定割りリソース情報に基づく共通チャネルを通してデータを受信する基地局における共通チャネルリソース割当機能をコンピュータで実現するプログラムであって、

コンピュータを、

前記複数の移動局から受信するプリアンブルからそれぞれの移動局を識別する識別手段、および

前記複数の移動局の少なくとも1つへ個別に送信される個別割りリソース情報を含む少なくとも1つの割りリソース情報を送信し、前記複数の移動局の各々が前記所定割りリソース情報および前記少なくとも1つの割りリソース情報のなかの1つの割りリソース情報を使用して前記データ送信を行うように前記共通チャネルのリソースを割り当て、前記個別割りリソース情報を受信しなかった移動局が再送したプリアンブルを受信する制御手段と、

として機能させるためのプログラム。

【請求項24】

所定割りリソース情報に基づく共通チャネルを通して基地局へデータを送信する移動局における共通チャネル制御機能をコンピュータで実現するプログラムであって、

コンピュータを、

前記基地局から個別割りリソース情報を含む少なくとも1つの割りリソース情報を受信する割りリソース情報処理手段、および、

送信すべきデータが発生すると前記基地局へ当該移動局のプリアンブルを送信し、当該プリアンブルに対する応答通知により前記個別割りリソース情報を受信しなかったとき、前記基地局に対してプリアンブルを再送する制御手段、

として機能させるためのプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

本発明によるリソース割当方法は、複数の第1無線通信装置が所定割りリソース情報に基づく共通チャネルを通して第2無線通信装置へデータ送信を行うシステムの共通チャネルリソース割当方法であって、前記第2無線通信装置は、前記複数の第1無線通信装置の少なくとも1つへ個別に送信される個別割りリソース情報を含む少なくとも1つの割りリソース情報を送信することができ、前記第1無線通信装置は、前記個別割りリソース情報を受信しなかったとき、前記第2無線通信装置に対してプリアンブルを再送する、ことを特徴とする。